

令和9年度

編入学生募集要項

選抜日程

出願期間	選抜期日	合格発表
令和8年7月27日(月) ～7月31日(金)	令和8年8月27日(木)	令和8年9月1日(火)



独立行政法人国立高等専門学校機構

鶴岡工業高等専門学校

〒997-8511 山形県鶴岡市井岡字沢田104

電話 0235-25-9247・9025

<https://www.tsuruoka-nct.ac.jp>

目 次

(募集要項)

I	入学者選抜の基本方針	1
II	募集学科, 募集コース, 募集人員及び編入学年	1
III	応用分野	1
IV	出願資格	1
V	出願書類等	2
1	出願書類	2
2	願書受付	2
3	出願に関する注意事項	3
VI	選抜の方法	3
1	面接の日時及び会場	3
2	口頭試問の出題科目	3
VII	合格者の発表	3
VIII	入学確約書の提出	4
IX	入学手続き	4
X	第4学年編入学生の必要経費等	4
1	入学時(初年度)の必要経費	4
2	入寮時の必要経費	4
3	奨学金制度等	4
XI	入試情報の開示について	5
XII	問い合わせ先	5
◎	応用分野一覧, コース別選択可能応用分野一覧表	6
◎	基本教育目標, 卒業認定の方針(ディプロマ・ポリシー)	7

(添付書類)

- 編入学願書
- 受験票・写真票
- 推薦書
- 振込依頼書

令和9年度 編入学生募集要項

I 入学者選抜の基本方針

本校は実践的技術者を養成する5年制一貫教育を特徴とする大学と同等の高等教育機関として、「基本教育目標」「卒業認定の方針(ディプロマ・ポリシー)」に掲げる人材の育成を目指しています。

また、本校の校訓は下記1のとおりとなっています。

このような本校の特徴や校訓から、本校では下記2のような人を入学者として求めています。

1. 校訓

「理魂工才」・「自学自習」

2. 本校の入学者受入方針 (アドミッション・ポリシー)

- ・技術や科学に関心があり、社会に貢献する技術者、研究者への夢を抱いている人
- ・学習意欲が高く、数学、理科、国語、社会、英語の基礎力が備わっている人
- ・何事にも粘り強さと責任感を持って積極的に挑戦する意欲があり、自ら進んで学習できる人
- ・「ものづくり」に対する専門的知識を身に付けて、将来、課題解決のために活躍するリーダーとなることを志す人

以上の本校の入学者受入方針に基づき、在籍(出身)学校の成績が優秀で、学習意欲が高い者を選抜します。そのため、在籍(出身)学校長の責任ある推薦を受けた者について、調査書の評価に加え、面接(口頭試問を含む)を課し、総合的に評価します。

II 募集学科, 募集コース, 募集人員及び編入学年

募集学科	募集コース	募集人員	編入学年
創造工学科	機械コース	若干名	第4学年
	電気・電子コース		
	情報コース		
	化学・生物コース		

III 応用分野

第4学年次には、各コースの専門性を高める4分野、融合複合3分野の計7分野から1分野に所属します。6頁の「応用分野一覧」及び「コース別選択可能応用分野一覧表」を参照してください。

IV 出願資格

次の(1)から(3)のいずれかに該当し、且つ(4)を満たし、在籍(出身)学校長の責任ある推薦を受けた者としてします。

(1) 高等学校を卒業した者又は令和9年3月卒業見込みの者

(2) 中等教育学校の後期の課程を卒業した者又は令和9年3月卒業見込みの者

(3) 次のア～ウに該当する者又は令和9年3月までに該当する見込みの者

ア 外国において12年の教育課程を修了した者

イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

ウ 専修学校の高等課程(修業年限が三年以上であることその他文部科学大臣が定める基準を

満たすものに限る。) で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者

(4) 在籍 (出身) 学校の成績が上位 1 割以内の者

V 出願書類等

1 出願書類

出願者は、次の書類を在籍 (出身) 学校長を通じて提出してください。

書 類 等	説 明
①編入学願書	本校所定の用紙に、必要事項を本人が記入してください。
②受験票・写真票	最近 3 か月以内に撮影した上半身無帽の写真 (縦 4 cm×横 3 cm) を所定欄に貼り付けてください。(写真はカラー又は白黒のいずれでも構いません。)
③調 査 書	大学入学者選抜実施要項に基づいて、在籍 (出身) 学校長が作成し、厳封したもの。
④卒業(見込)証明書	在籍 (出身) 学校長が作成したもの。
⑤推 薦 書	本校所定の用紙に、在籍 (出身) 学校長が作成し、厳封したもの。
⑥検 定 料	16,500円 本校所定の振込用紙により金融機関 (ゆうちょ銀行では口座からの振込はできますが、現金による振込はできません。ゆうちょ銀行専用の振込依頼書を使用してください。) の窓口で振り込んでください。なお、ATMは証明書が発行されないため、使用できません。出願の際は、振込金受取書 (ゆうちょ銀行の場合は「振込依頼書 (兼振替払出請求書) [電信払い]」) を受験票の裏面に必ず貼り付けてください。
⑦そ の 他	在日外国人は、市町村長が発行する住民票の写しを提出してください。
⑧受験票送付用封筒	長形 3 号封筒に出願者の住所・氏名を記載し、定型郵便物 (50グラム以下) の簡易書留料金分の切手を貼ったもの。 受験票を高等学校で一括して受領する場合は 3 頁の「3. 出願に関する注意事項 (7)」を参照してください。

注 1 本校に入学を志願する者で、身体に障害 (学校教育法施行令第 22 条の 3 に規定する身体障害の程度) あるいは発達障害者支援法で規定する障害があり、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする者は、出願の前に学生課教務係に問い合わせてください。

注 2 本校に入学を志願する者で、令和 8 年度に、その主たる家計支持者の居住地が災害による被災に伴い災害救助法の適用を受け、居住する家屋が被害を受けた場合、検定料免除の措置を講じます。

詳しくは本校HPに掲載していますので参照してください。

2 願書受付

(1) 受付期間

令和 8 年 7 月 27 日 (月) から令和 8 年 7 月 31 日 (金) まで

(郵送の場合も出願期間の末日必着とします。)

(注) 郵送の場合は、必ず「簡易書留」とし、封筒の表に「編入学願書在中」と朱書きしてください。

(2) 受付時間

9 時から 17 時まで

(3) 受付場所

鶴岡工業高等専門学校 学生課教務係

〒997-8511 鶴岡市井岡字沢田104 TEL 0235-25-9247, 9025

3 出願に関する注意事項

- (1) 出願書類等の不備なものは受け付けません。
- (2) 提出された出願書類等に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても編入学を取り消すことがあります。
- (3) 出願書類等提出後の記載事項の変更は、原則として認めません。
- (4) 受付後の出願書類等は、返還しません。
- (5) 受理した検定料は、次の場合を除き返還しません。
 - ・検定料を納付したが出願しなかった場合
 - ・検定料を重複で納付した場合上記の場合は、本校学生課教務係までご連絡ください。
- (6) 入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。
 - a) 入学後の教育・指導
 - b) 入学料、授業料の免除申請の審査
 - c) 奨学金申請の審査
 - d) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究
- (7) 受験票を高等学校で一括して受領することを希望する場合は、切手(簡易書留料金を含む。)を貼り、受信先(学校長あて)を明記した封筒を同封してください。

なお、この場合、出願者ごとの「受験票送付用封筒」は提出する必要はありません。

VI 選抜の方法

編入学者の選抜は、面接(口頭試問を含む。)、推薦書及び調査書等の総合判定により行います。

1 面接の日時及び会場

期 日	時 間	会 場
令和8年8月27日(木)	10:00～	鶴岡工業高等専門学校

(注) 試験当日は受験票を持参し、9時40分までに受付を終了し、所定の控室で待機してください。面接は、個人面接を行います。

2 口頭試問の出題科目

英語、専門科目

VII 合格者の発表

令和8年9月1日(火)午前10時に合格者の受験番号を本校に掲示するとともに、本校ホームページにも合格者の受験番号を掲載します。また、選抜結果通知書及び合格通知書を在籍(出身)学校長あて送付します。なお、電話等による合否の照会には一切応じられません。

(注) 合格者には、合格コース及び配属応用分野を通知します。第1希望以外の応用分野に配属となる場合があります。

VIII 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、「入学確約書」を令和8年9月8日(火)までに在籍(出身)学校を経て、本校学生課教務係へ提出してください。

なお、期限までに提出しない者は、合格を取り消します。

IX 入学手続き

入学手続きについては、「入学確約書」を提出した者に、後日通知します。

X 第4学年編入学生の必要経費等

(金額は、令和8年4月現在です。改定される場合があります。)

1 入学時(初年度)の必要経費

入 学 料	84,600円	教 科 書 代 金	約50,000円
授 業 料	前期分 117,300円		
学生会入会金	1,000円		
学 生 会 費	年額 7,000円		

- * 授業料は、年額234,600円で後期分は10月に徴収します。(一括納入も可)
- * 在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。
- * 教科書代金はコース毎に異なります。
- * 4年次の校外実習(関東等への工場見学旅行)参加者は、別途その経費(約90,000円)を要します。

2 入寮時の必要経費(参考)

入 寮 費	3,000円	寮 生 会 入 会 金	300円
寄 宿 料	月額 800円	寮 生 会 費	年額 2,400円
運 営 費(年10か月分)	月額 13,000円	給 食 費	日額 1,579円
冷暖房費(年10か月分)	月額 4,500円		

学寮所在地：鶴岡市井岡字沢田104(本校敷地内)

- * 3～5年生については、入寮希望者多数の場合、入寮選考を行いますので、希望しても入寮できないことがあります。

3 奨学金制度等

(1) 高等教育の修学支援制度

「大学等における修学の支援に関する法律」により、本科4年生、5年生及び専攻科生を対象とし、本人の学修状況による「学業成績等に係る基準」と、家計状況が住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯であることを要件とする「家計に係る基準」の両方を満たす場合に、日本学生支援機構の給付型奨学金の支給や、授業料及び入学料の減免措置が行われる制度があります。

(2) 入学料免除・徴収猶予制度

入学前1年以内において、学資負担者の死亡又は風水害等の災害を受けたことにより経済的に入学料の納付が困難であると認められる者に対し、申請に基づき選考の上、入学料を免除又はその徴収を猶予する制度があります。

(3) 授業料免除・徴収猶予制度

授業料の各期の納付期限前6月以内（入学した日の属する期分の免除に係る場合は、入学前1年以内）において、学資負担者の死亡又は風水害等の災害を受けたことにより経済的に納付が困難であると認められる者に対し、申請に基づき選考の上、授業料の全額又は半額を免除又はその徴収を猶予する制度があります。

(4) 奨学金制度

日本学生支援機構の規程に基づき、学業・人物共に優れ、かつ健康であって学資の支弁が困難と認められる者に対して、本人の申請に基づき、選考の上、日本学生支援機構から奨学金が貸与される制度があります。ほかに、地方公共団体、民間等の奨学金制度があります。

XI 入試情報の開示について

編入学者の選抜における試験成績の開示については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」に基づく開示請求が別途必要となります（有料）。

開示手続き等に時間を要することもありますので、希望する場合は事前に本校総務課総務係（0235-25-9014）にお問い合わせください。

XII 問い合わせ先

鶴岡工業高等専門学校 学生課教務係 住所 〒997-8511 鶴岡市井岡字沢田104 電話 0235-25-9247・9025 FAX 0235-25-8195

応用分野一覧

デザイン工学分野（機械コースから選択可能）

機械工学にかかわる基礎専門知識や実験等を通して得られる実践力を、ものづくりに生かすことができる人材を養成します。

エレクトロニクス分野（電気・電子コースから選択可能）

電力、電子機器、電子デバイス、光応用機器等の電気・電子システム分野等の専門知識を備え、社会基盤を支えていく独創的・実践的な人材を養成します。

ITソフトウェア分野（情報コースから選択可能）

情報工学に関する基礎専門知識や実践能力を身につけた、高度情報化社会に適応できる人材を養成します。

環境バイオ分野（化学・生物コースから選択可能）

無機化学、有機化学、分析化学、物理化学、生物学等の基礎専門知識を兼ね備え、環境に配慮した持続可能社会の実現に貢献できる人材を養成します。

メカトロニクス分野（機械コース、電気・電子コース、情報コースから選択可能）

機械工学、電気・電子工学、情報工学、制御工学の知識を融合させ、人間の生活向上に欠かすことのできない産業ロボット、人間支援ロボット等を開発、製造できる技術者を養成します。

資源エネルギー分野（機械コース、電気・電子コース、化学・生物コースから選択可能）

電気・電子工学、機械工学、化学・生物学の専門基礎知識を修得し、風力発電や太陽電池による発電等、持続可能なエネルギー開発ができる技術者を養成します。

材料工学分野（機械コース、電気・電子コース、化学・生物コースから選択可能）

機械工学、電気・電子工学、化学・生物学の各専門知識を修得し、金属材料、電気・電子材料、有機材料等からなる新素材の開発や評価ができる実践的技術者を養成します。

コース別選択可能応用分野一覧表

コース名	選択可能応用分野
機械コース	デザイン工学分野、メカトロニクス分野、資源エネルギー分野、材料工学分野
電気・電子コース	エレクトロニクス分野、メカトロニクス分野、資源エネルギー分野、材料工学分野
情報コース	ITソフトウェア分野、メカトロニクス分野
化学・生物コース	環境バイオ分野、資源エネルギー分野、材料工学分野

(注) 機械コース及び電気・電子コースでは4分野、情報コースでは2分野、化学・生物コースでは3分野から1分野に所属します。

基本教育目標

- 1 豊かな人間性と広い視野を持ち、社会人としての倫理を身につける
- 2 あらゆる学習を通じて思考力を鍛え、創造力に富んだ技術者になる
- 3 専門分野の基礎を良く理解し、実際の問題に応用できる能力を培う
- 4 意思伝達及び相互理解のため、十分なコミュニケーション力を養う

卒業認定の方針(ディプロマ・ポリシー)

I. 養成する人材像

多様な価値観と広い視野を持ち、人間性と創造性に富み、基礎工学及び専門知識・技術を有機的に統合したものづくりやシステムづくりに強い実践的技術者

II. ディプロマ・ポリシー

1. 創造工学科のディプロマ・ポリシー

養成する人材像をもとに、下記の能力及び姿勢を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。

- (A) 知識を統合し多面的に問題を解決できる構想力
- (B) 専門分野の基礎としての数学など自然科学の知識を活用できる能力
- (C) 論理的表現力と外国語によるコミュニケーションができる能力
- (D) 専門分野の知識と情報技術を身につけ、ものづくりに幅広く対応できる実践力
- (E) 幅広い教養と技術者・研究者としての倫理に基づき行動する姿勢

2. コースのディプロマ・ポリシー

機械コース

創造工学科のディプロマ・ポリシーに加え、機械コースは、その目標とする人材を育成するため、以下に掲げる能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。

- (1) 機械工学に関する体系的な知識と技術
- (2) 機械、メカトロニクス、材料工学等の基盤技術
- (3) 機械、メカトロニクス、材料工学等の視点に立って社会的な役割を理解し、技術的課題を解決する構想力と実践的能力

電気・電子コース

創造工学科のディプロマ・ポリシーに加え、電気・電子コースは、その目標とする人材を育成するため、以下に掲げる能力を身につけ、所定の単位を修得した

学生に対して、卒業を認定する。

- (1) 電気・電子工学に関する体系的な知識と技術
- (2) エレクトロニクス, 情報・通信, 電気エネルギー等の基盤技術
- (3) エレクトロニクス, 情報・通信, 電気エネルギー技術の視点に立って社会的な役割を理解し, 技術的課題を解決する構想力と実践的能力

情報コース

創造工学科のディプロマ・ポリシーに加え, 情報コースは, その目標とする人材を育成するため, 以下に掲げる能力を身につけ, 所定の単位を修得した学生に対して, 卒業を認定する。

- (1) 情報工学, システム制御等に関する体系的な知識と技術
- (2) ハードウェア, ソフトウェア, 情報通信技術, 制御工学等の基盤技術
- (3) ハードウェア, ソフトウェア, 情報通信技術, 制御工学等の視点に立って社会的な役割を理解し, 技術的課題を解決する構想力と実践的能力

化学・生物コース

創造工学科のディプロマ・ポリシーに加え, 化学・生物コースは, その目標とする人材を育成するため, 以下に掲げる能力を身につけ, 所定の単位を修得した学生に対して, 卒業を認定する。

- (1) 化学, 生物学に関する体系的な知識と技術
- (2) 物質・材料, 生物学等の基盤技術
- (3) 物質・材料, 生物学等の視点に立って社会的な役割を理解し, 技術的課題を解決する構想力と実践的能力

デジタルデザインコース※

創造工学科のディプロマ・ポリシーに加え, デジタルデザインコースは, その目標とする人材を育成するため, 以下に掲げる能力を身につけ, 所定の単位を修得した学生に対して, 卒業を認定する。

- (1) デジタル・リベラルアーツを主軸とした工学技術 (機械, 電気電子, 情報), 化学・生物学のいずれかに関する体系的な知識と技術
- (2) デジタル・リベラルアーツを主軸とした機械, メカトロニクス, 材料工学, エレクトロニクス, 情報・通信, 電気エネルギー, ハードウェア, ソフトウェア, 情報通信技術, 制御工学, 物質・材料, 生物学等による基盤技術
- (3) 機械, メカトロニクス, 材料工学, エレクトロニクス, 情報・通信, 電気エネルギー, ハードウェア, ソフトウェア, 情報通信技術, 制御工学, 物質・材料, 生物学のいずれかの視点に立って社会的な役割を理解し, データサイエンス, AIなどを用いて技術的課題を解決するデザイン能力と実践的能力

※ デジタルデザインコースは令和7年度以降に本科1年次に入学した者が所属対象となるコース

令和9年度 鶴岡工業高等専門学校

第4学年 編入学 願書

受験番号 ※

志	ふりがな	
	氏名	
	生年月日	平成 年 月 日
願	ふりがな	
	〒	□□□-□□□□
	現住所	電話番号 () -
	在籍 (出身) 学校	立 学校 科 平成 年 月 卒業(修了) ・ 卒業(修了)見込み
者	卒業後の 履 歴	年 月 年 月 年 月

保	ふりがな	
	氏名	Ⓜ
護	〒	□□□-□□□□
者	現住所	電話番号 () -

志 望 コ ー ス
コース

第1 希望応用分野	第2 希望応用分野	第3 希望応用分野	第4 希望応用分野
分野	分野	分野	分野

(記入上の注意)

- ※受験番号欄以外はもれなく記入してください。
- 黒のボールペンを使用し、はっきりと書いてください。
- 年号及び「卒業(修了)・卒業(修了)見込み」については該当のものを○で囲んでください。
- 「卒業後の履歴」は該当する者のみ詳しく記入してください。
- 「希望分野」は志望コースで選択可能な応用分野を全て希望順に記入してください。
(情報コースは第2希望まで、化学・生物コースは第3希望まで記入してください。)

令和9年度
鶴岡工業高等専門学校

受 験 票

受 験 号 ※	
志 望 コース	コース

氏名	
----	--

日 程

令和8年8月27日(木)10時から

- ※受験番号欄は記入しないでください。
- 受験者心得を熟読してください。

(きりとらないこと)

令和9年度
鶴岡工業高等専門学校

写 真 票

受 験 号 ※	
志 望 コース	コース

氏名	
----	--

写 真

(縦4cm×横3cm)

最近3か月以内に撮影した上半身無帽のものをこの大きさに切って貼り付けてください。
(写真はカラー又は白黒のいずれでもかまいません。)

- ※受験番号欄は記入しないでください。

受 験 者 心 得

- 8月27日(木)9時40分までに受付を終了し、所定の控室で待機してください。
- 受験票は必ず持参し、受付に提示してください。
- 受験票を紛失又は忘れてきた者は、直ちに受付に申し出て仮受験票の交付を受けてください。

(きりとらないこと)

検 定 料

振込金受取書

貼 付 欄

受験番号

※

令和9年度 鶴岡工業高等専門学校編入学

推薦書

令和 年 月 日

鶴岡工業高等専門学校長 殿

所在地：

学校名：

校長名：

職印

下記の者は、学業成績、人物ともに優秀であり、貴校出願資格に該当し、貴校編入学者としてふさわしい資質を持つ者として認め推薦します。

記

生徒氏名：

在籍学科等：

推薦理由	
その他の事項	

(注1) 様式が同じであれば、ワープロ等による作成も可

(注2) ※受験番号欄は記入しないでください。

※ 依頼人の氏名は、受験者本人の氏名を記入してください。

振込金受取書

令和	年	月	日
金額	百万	千	円
	¥	16500	
先方銀行	庄内 銀行 鶴岡営業部		
受取人	独立行政法人国立高等専門学校機構本部 出納命令役 事務局長 永田 昭浩 様		
依頼人	様		
(備考)			
検定料			

上記のおおりの振込金として
受取りました。

銀行	店
入	紙
取	印
出	印
納	印
済	印

(取扱店→依頼人)

振込通知書

令和	年	月	日
金額	百万	千	円
	¥	16500	
先方銀行	庄内 銀行 鶴岡営業部		
受取人	独立行政法人国立高等専門学校機構本部 出納命令役 事務局長 永田 昭浩 様		
依頼人	様		
(備考)			
検定料			

上記のおおりの振込いたしましたから
ご通知申し上げます。

銀行	店
出	印
納	印
済	印

(取扱店→取りまとめ店→受取人)

電信扱

振込依頼書

依頼日	令和	年	月	日	
先方銀行	庄内	銀行	鶴岡営業部	手数料	
預金種類	普通預金	口座番号	1023298	金額	¥16500
コウセンキウホソブンブ	独立行政法人国立高等専門学校機構本部	出納命令役	事務局長 永田 昭浩 様	入金	
(フリガナ)				入金内訳	
(おなまえ)				現金	
(おところ)				当座等	
				他	
				振替	
				印	
				係	
				印	
				係	
				印	

(取扱店保管)

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。